

## 九州大学病院

研修医 小林 裕介 2016年8月

九州大学病院初期臨床研修医2年目の小林裕介と申します。平成28年の8月1日から1か月間、出水総合医療センターおよび医療センターと連携する高尾野診療所、野田診療所で研修をさせていただきました。

第1週目は高尾野診療所で研修をさせていただきました。自分は初期臨床研修が2年間とも大学病院であったため、既に診断の付いた症例に対する集学的な医療は数多く経験することができていたのですが、未だ何も診断の付いていない初診の患者さんの診察は市中病院で救急救命センターを1か月間経験して以来しばらくぶりのものでありました。医師国家試験で得た知識と短期間ながら救急救命センターで学んだ経験を生かして、実際に慢性疾患の外来を高尾野診療所の指導医監督の下に経験させていただきました。はじめは緊張しましたが、限られた時間を集中して問診、身体診察、検査依頼、内服処方までさせていただき、次第に診るべき要点が分かってきました。

第2週目の野田診療所でも初診の患者さんの診察を任せられました（研修医なのでもちろん指導医のフォローがあります）が、1週目より自信をもって診察できていたように思います。他にも印象に残った事例は在宅医療（往診）です。地域住民の方々が営む日常生活や居住する地域の特性に即した医療を学び、実践させていただきました。

第2水曜日には出水保健センターで研修させていただき、地域保健、健康増進への理解を深めました。実際に3歳児健診（出水の場合はしっかりと成長発達を診るために3歳半健診）に参加させていただき、子どもたちと触れ合う機会を持たせていただきました。

また、月2回の上場診療所への診療や夜間1次救急診療も経験させていただきました。救急外来オンコールでは転院搬送時の医師同伴として熊本労災病院までの移動にも協力させていただきました。

第3週目以降は出水総合医療センターの外科で研修させていただきました。毎日1~2例の手術にすべて入らせていただき、腹腔鏡操作や縫合結紮等の外科手技をお手伝いさせていただきました。手術症例もまた、大学病院とは異なり頻度の高い疾患の手術を多く経験させていただきました。ありふれた疾患といっても患者さんそれぞれが抱えていらっしゃる背景は異なる訳で、先生方は医学的根拠に基づき一人ひとりの患者さんに対し適切な判断を下し治療方針を提案していました。出水総合医療センターの研修では外科以外にも看護部や検査部、リハビリテーション部、医療安全管理部といった他職種の方々のお話を聞く機会も設けていただきました。

終わってみると1か月は早く過ぎ去ったように感じますが、1日ずつ振り返ってみると1か月を通して多くの貴重な経験ができたことを実感しました。学んだことを大学病院の研修、さらには今後の医者人生に生かして、多くの方に喜んでいただけるような医療を提供したいと思います。

最後になりますが、数日単位とそれぞれ短い研修期間であるにも関わらず熱心に指導してくださった出水総合医療センターをはじめとする各診療所の先生方、スタッフ、そして受け入れてくださった地域住民の皆様から感謝のお礼を申し上げます。ありがとうございました。

